

東京大学と三菱地所、産学協創協定を締結

～『本丸イノベーションオーバル』形成を目指し、「三菱地所東大ラボ」を開始～

国立大学法人東京大学（東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下 東京大学）と三菱地所株式会社（東京都千代田区、執行役社長：吉田 淳一、以下 三菱地所）は 10 月 21 日、産学協創協定を締結し、「三菱地所東大ラボ」を開始しました。今後 10 年間にわたり産学協創における協業を推進してまいります。

東京大学と三菱地所は、地球と人類社会の豊かな未来の創造という理念を共有し、複層する社会課題の解決に向けて、東京・日本の未来を創造することを目指し、これまでの産学連携・スタートアップ支援の取り組みをより一層強化していきます。

三菱地所東大ラボは、東京大学の主要拠点であり卓越した知が集積する本郷から、三菱地所が 130 年以上にわたりまちづくりを推進する大手町・丸の内・有楽町までのエリア（以下、「本丸エリア」）にイノベーションを創出・成長させるエコシステムの拠点を構築するとともに、本丸エリアを魅力ある場として創造し、本丸イノベーションオーバルを形成していくことを目指します。



▲三菱地所 執行役社長 吉田淳一（左）と東京大学 総長 藤井輝夫（右）

■各者コメント

＜東京大学 総長 藤井 輝夫＞

明治期以降、近代国家としての我が国の基盤を支える中心的な場所であった本丸エリアの歴史・文化的な意義をふまえ、当エリアでの次世代まちづくり研究・教育、知の交流の拠点形成支援、利用者目線の DX（デジタルトランスフォーメーション）によるサービス提供研究、GX（グリーントランスフォーメーション）による社会デザイン変革研究を推進し、イノベーションによる社会変革につながる研究・教育活動を三菱地所と共に展開していきます。

＜三菱地所 執行役社長 吉田 淳一＞

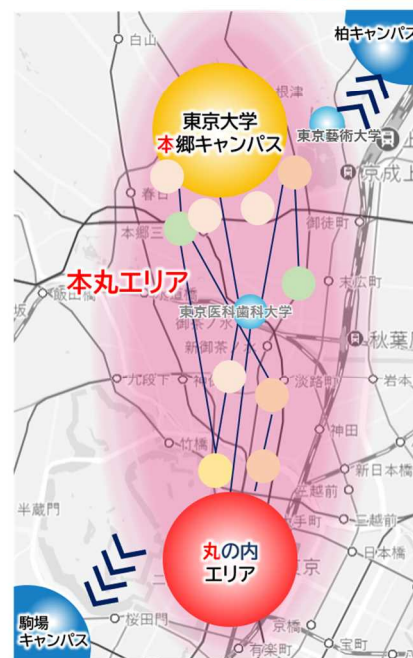
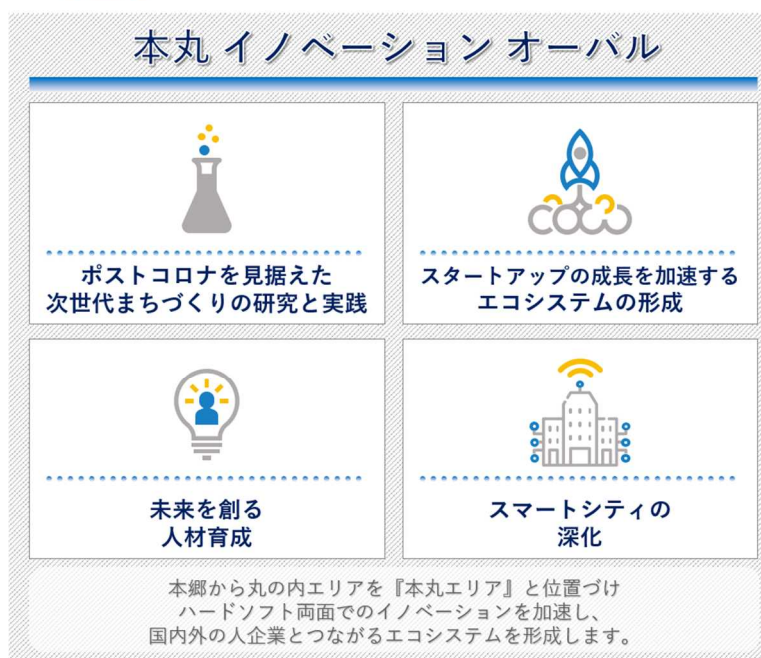
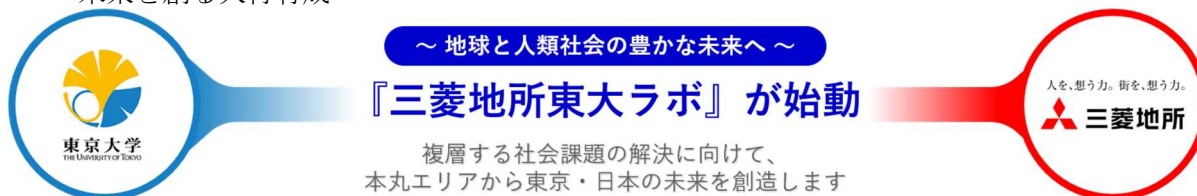
急速に変化し様々な課題が複層する現代社会において、まちが果たすべき役割はより高度に、複雑になっています。東京大学と三菱地所並びに本丸エリアに集積する企業等との協業を通じて、次世代のまちづくりのあるべき姿の探求や、新たな産業の創出を支援、社会課題解決の取り組みを推進することで、東京・日本の豊かな未来の創造を目指します。

■本協定の取り組み概要

協定締結日：2022年10月21日（金）

三菱地所東大ラボの主な取り組み内容：

- ・ポストコロナを見据えた次世代のまちづくり研究と実践
- ・スタートアップの成長を加速するエコシステム形成
- ・スマートシティの深化
- ・未来を創る人材育成



▲産学協創協定の取り組みイメージ図

現代社会は、気候変動、エネルギー問題といった地球規模の課題や、少子高齢社会等、地域社会を取り巻く様々な課題に直面しています。さらには新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、価値観の変化・新たな生活様式の浸透が進んでいます。

こうした急速な社会の変化に対し、多様な英知を有しより良い未来社会実現のために学知の創出に努め、幅広い社会との協創を生み出そうとする東京大学と、まちづくりを通じて多様な人・組織・企業の集積や交流、イノベーション創出により、社会課題解決・新たな価値創造に取り組んできた三菱地所が連携し、地球と人類社会の豊かな未来の創造を目指します。多様な社会課題解決の土壌となる次世代のまちづくりの研究と実践、新産業の創出の原動力となり新たなビジネスを加速するスタートアップエコシステム形成、人々のQOL（Quality of Life）を豊かにするスマートシティの深化や、未来を創る人材育成に取り組めます。これらの活動を通してイノベーションが創出され成長するまちへの進化を目指し、本丸エリアのコンセプトを「本丸イノベーションオーバル」と名付けました。

地理的に近接した主要拠点を有する両者が連携し、本丸エリアの多様なステークホルダー（グローバル企業やスタートアップ企業、本丸エリアに立地する東京医科歯科大学など卓越するアカデミア等）との協力を進め、イノベーション創出・エコシステム形成を実現することで、東京・日本の未来を体現するモデルケースとなり、国内外への波及効果を生み出すこと目指します。

■「(仮称) 東大 WEEK@丸の内」開催について

本協創協定締結後、第1弾の取り組みとして「(仮称) 東大 WEEK@丸の内」を開催、東京大学が有する最先端の知を丸の内エリアから発信します。

日 程：12月19日（月）～21日（水）
場 所：丸の内エリア
主 催：三菱地所東大ラボ
内 容：東京大学の教授・准教授がキャンパスを飛び出し、丸の内エリア各所で講演を行います。東京大学の有する最先端の知に触れ、新たなアイデアに繋がる刺激を得られるイベントです。



▲東大 WEEK@丸の内 イベントイメージ

【参考】既存取り組みについて

これまでも、東京大学と三菱地所は、スタートアップ支援プログラム「東京大学 FoundX」向け施設の開設・運営、Tokyo Marunouchi Innovation Platform(以下、TMIP)への東京大学の参画、東京大学系 VC ファンドへの三菱地所の出資や共同研究・実証実験の実施等で連携を深めてきました。今回の産学協創協定締結により新たにビジョンを共有することで、それぞれの取り組みを包含し更に深化させてまいります。

■FoundX

2018年12月、東京大学産学協創推進本部と三菱地所は、同本部が主体となって運営する、東京大学の卒業生・研究者・学生の起業を支援するスタートアップ支援プログラム「東京大学 FoundX（以下、FoundX）」向け施設の第一弾を、本郷エリアに開設しました。



その後、第二・第三の施設を開設し、これから生まれる起業家に対して、起業の「起点」となるような各種支援を提供しています。

また、FoundX プログラムから、丸の内エリアのインキュベーション施設への入居スタートアップも多数あり、起業フェーズから成長フェーズへのシームレスな成長支援を進めております。

リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec181217_TodaiFoundX.pdf

URL：<https://foundx.jp/>

■TMIP

東京大学と三菱地所は、TMIP において連携し、丸の内エリアにおける共同研究（まちにおける活動関連データ取得・活用プロジェクト等）の実行のほか、各種イベントでの連携を推進しております。



TMIP は丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）のイノベーション・エコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ・官・学の連携によるイノベーションの創出を支援する会員制組織です。大企業を中心とした「会員」とスタートアップ・学・官・まちづくり団体等の「パートナー」そして、その2つをつなぐ「事務局」によって構成されています。

URL：<https://www.tmip.jp/ja/>

■東大系 VC ファンド出資

東大協創プラットフォーム開発株式会社（以下、東大 IPC）と三菱地所及び TMIP は、東大 IPC が運用する、企業とアカデミア連携によるベンチャー育成ファンド「オープンイノベーション推進 1

号」に、2021 年 4 月に三菱地所が LP（有限責任組合員）出資することにより、丸の内エリアにおけるオープンイノベーションの促進に向けた協業を進めております。

更に、2022 年 5 月に三菱地所は株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（以下、UTEC）が組成した UTEC5 号投資事業有限責任組合に LP（有限責任組合員）出資しました。これにより、プレシードからシード期のスタートアップ、及び、大企業発のカーブアウトベンチャーの育成支援まで、成長段階に応じた支援を行っております。

リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210419_aoifund.pdf



▲アカデミア発スタートアップの成長段階に応じた支援領域イメージ

出典：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210517_utech5fund.pdf

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

東京大学 産学協創部

E-mail : kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※メールの件名の冒頭に「【1021 三菱地所】」と記載いただきますよう、お願い申し上げます。

三菱地所株式会社 広報部

TEL : 03-3287-5200